

令和6年2月定例会

教育産業委員会資料
(教育委員会)

学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づき、地域ブロック協議会において、学校統合の方向性（学校の組合せ）が決定した地域については、学校統合検討委員会で統合の可否を検討している。

また、検討委員会において、学校統合の合意が得られたところについては、学校統合準備委員会で、統合の実施に向けた具体的な準備作業を行っている。

1 学校統合検討委員会の開催状況等

(1) 第4回築山小、中通小学校統合検討委員会【12月18日(月)開催】

ア 主な意見等

- ・築山小PTAのアンケートでは、小中併設校として統合することに、賛成が約85%であった。
- ・中通小PTAとしては、将来の児童のことを考えると、早めに小中併設校の新しい校舎で学習するのが良いと思う。
- ・地域には、母校がなくなることを懸念する方も多いが、将来的な児童数を考えると、この機会に統合するのが良い。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会として、築山小、中通小は、今後、秋田南中の改築に合わせ、小中併設校として統合を進める方向とした。
- ・今回の協議結果を踏まえ、各所属団体へ持ち帰り、情報共有し、次回、小中併設校としての統合について、最終確認する。

(2) 第5回築山小、中通小学校統合検討委員会【2月22日(木)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・地域、保護者、教育委員会は、統合後の校舎を秋田南中の改築に合わせて整備を予定する小中併設校校舎として、統合することに合意した。（3月6日合意書調印）
- ・統合する時期は、小中併設校が完成する日が属する年度の翌年度とする。
- ・統合に伴い、通学距離や時間が長くなる児童には、地域およびPTAと教育委員会が連携し、通学路の安全確保に努める。
- ・統合に伴う学校の名称、交流事業の実施、指定学校変更の取扱いなどについては、学校統合準備委員会において協議する。

(3) 第5回下新城小、金足西小学校統合検討委員会【1月10日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・下新城小PTAとしては、児童数の推移を踏まえると、2校での統合ではなく、できるだけ早く飯島小との統合について検討を進めたい。
- ・金足西小PTAとしては、将来的に飯島小との統合が必要になると思うが、現時点では、統合について考えていない。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・本検討委員会は、2校での検討を終了し、今後は、再度、飯島小を含めた3校で、統合の方向性を確認する。
- ・今回の協議内容を踏まえ、飯島地区、飯島小PTAと3校の検討委員会設置に向けて、調整する。

(4) 第7回飯島小、下新城小、金足西小学校統合検討委員会【2月13日(火)開催】

ア 主な意見等

- ・下新城小PTAとしては、金足西小との2校で統合しても、また統合を繰り返すことになるため、飯島小との統合を進めたい。
- ・金足西小PTAとしては、将来的に飯島小との統合が必要になると思うが、現時点では単独で残りたい。
- ・飯島小のPTAおよび地域としては、下新城小との統合の検討を進めることについて、受け入れることを確認している。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・飯島小と下新城小の2校の組合せで検討委員会を設置し、統合の時期、統合後に使用する校舎、通学手段など統合の可否について検討を行う。
- ・金足西小は、児童数の推移を踏まえながら、将来的な飯島小との統合について検討を継続する。

(5) 第6回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会【1月19日(金)開催】

ア 主な意見等

- ・浜田小PTAとしては、これまでと変わらず、小規模校を残してほしい。
- ・豊岩小PTAとしては、小規模校を残したい気持ちが強く、日新小が完成してから4校での統合を検討したい。
- ・下浜小PTAとしては、小規模校を残してほしいという思いであるが、児童数が減っていけば、統合も仕方ないと思うので、日新小の増改築状況を見ながら検討していきたい。
- ・児童数の推移を見ると、統合を先延ばしできる状況ではなく、日新小が完成するタイミングで統合できれば、子どもたちの負担が減ると思う。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・今回の協議内容を踏まえ、日新小の増改築工事が完了する令和8年度を目途に4校で統合を検討する方向で進めることについて、各所属団体で意見集約を行った上で、協議を継続する。

2 学校統合準備委員会の開催状況等

(1) 第2回河辺小、戸島小学校統合準備委員会【1月25日(木)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・体育着等の指定物品については、現在の河辺小のものを変更することなく使用する。
- ・統合後の児童室については、河辺児童室を利用することとする。
- ・統合後のスクールバスの運行については、保護者や地域からの意見等を踏まえ、今後、乗降場所や運行時間を個別に調整することとし、不都合があった場合には、その都度見直し等を行う。
- ・交流事業については、統合前から交流を深めるため、学年ごとの交流学習などの実施に向け、引き続き、学校間で調整する。

(2) 第3回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会【1月31日(水)開催】

ア 主な意見等

- ・土崎小は県内でも有数の伝統校であることから、卒業生の思いや土崎という地域の名前を大切にすべきであり、校名は土崎小とするのが良い。
- ・統合後の校舎は苦渋の決断で土崎南小にすることとしたが、校名は150年続いた土崎小の名前を残すことで、子どもたちは対等な気持ちで誇りを持って学校に通うことができると思う。
- ・統合して新たな歴史をスタートすることを考えると、校舎が土崎港地区にあるという立地を踏まえ、校名は土崎みなと（港、湊）小とするのが良い。
- ・住居表示や祭りには「みなと」という文字が入っているほか、どちらかの校名を使用すると一方が閉校になるイメージがあることから、校名は未来志向で土崎みなと（港、湊）小とするのが良い。

イ 今回の委員会での確認事項

- ・校名等について、今回の協議内容を踏まえ、再度、各所属団体で意見集約し、次回決定する。

(3) 第4回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会【3月5日(火)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・2校の歴史や伝統を引き継ぎながら、未来に向かって進んでいけるよう、校名は新生「土崎小学校」とし、校章、校歌は新たに制定する。
- ・今回の確認事項を各所属団体で情報共有するとともに、次回以降、校章、校歌の選定方法や体育着等の指定物品などの具体的な検討を行う。

(4) 第4回広面小、太平小、下北手小学校統合準備委員会【2月8日(木)開催】

ア 今回の委員会での確認事項

- ・統合後のスクールバスの運行については、保護者や地域からの意見等を踏まえ、今後、乗降場所や運行時間を個別に調整する。
- ・交流事業については、統合する児童および保護者の不安や負担を軽減するため、引き続き、学校間で調整する。
- ・閉校記念事業の実施については、実行委員会が主体となり、学校および教育委員会と連携しながら、準備を進める。
- ・廃校舎の利活用については、地域やPTAが教育委員会と連携しながら検討を進める。

3 今後のスケジュール

(1) 地域ブロック協議会

開催日	地域ブロック協議会	地域
4月以降	第7回河辺地域ブロック協議会	河辺

(2) 学校統合検討委員会

開催日	学校統合検討委員会	地域
3月14日(木)	第5回土崎中、将軍野中学校統合検討委員会	北部
3月25日(月)	第1回飯島小、下新城小学校統合検討委員会	
4月以降	第8回旭北小、旭南小学校統合検討委員会	中央
	第7回浜田小、豊岩小、下浜小学校統合検討委員会	西部
	第6回秋田北中、飯島中学校統合検討委員会	北部

(3) 学校統合準備委員会

開催日	学校統合準備委員会	地域
3月18日(月)	第11回下北手中、城東中学校統合準備委員会	東部
4月以降	第1回築山小、中通小学校統合準備委員会	中央
	第5回土崎小、土崎南小学校統合準備委員会	北部
	第5回広面小、太平小、下北手小学校統合準備委員会	東部
	第3回河辺小、戸島小学校統合準備委員会	河辺

※上記地域協議については、進捗状況により、順次、開催する。